

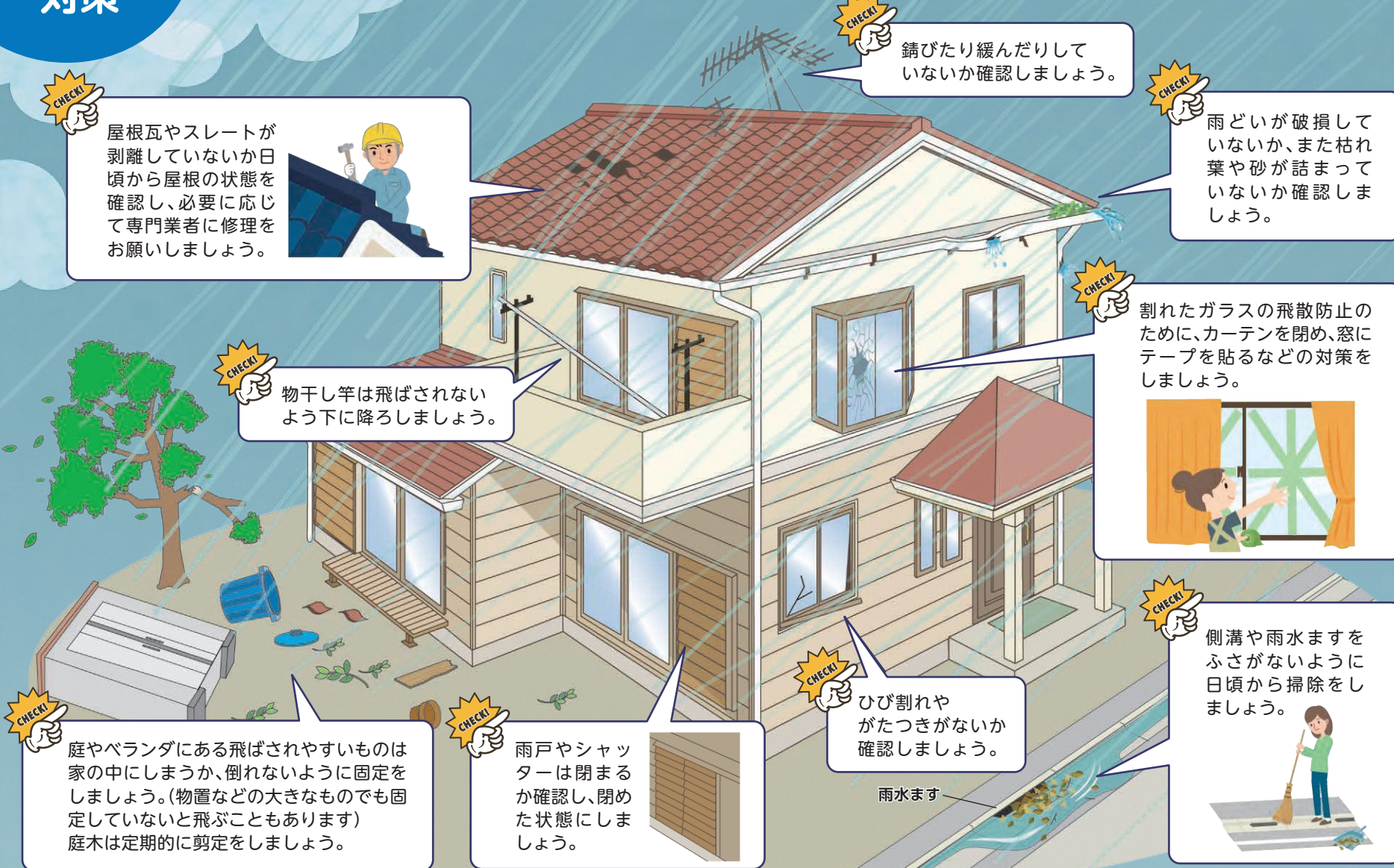
特集 大雨・台風に備える

近年、局地的大雨(いわゆるゲリラ豪雨など)や、台風などの大雨・暴風による被害が多く発生しています。令和元年には台風15号および台風19号により、全国各地で甚大な被害が発生しました。特に台風は、規模や進路を事前にある程度把握することができるため、事前の対策により被害の発生を少なくすることができます。6月から10月頃まで多く発生する大雨や台風に備えるために、自宅周辺の事前対策や避難に関する情報と行動を紹介します。

事前の対策

自宅周辺を確認しましょう

大雨・台風が発生する前に自宅周辺に危険なものはないか確認しましょう。特別な対応が必要な場合は専門業者に早めに依頼をしましょう。



防災用品を準備しましょう

停電に備えて

- 懐中電灯・ランタン
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 携帯電話充電器
- 調理の不要な食料
- 飲料水、生活用水

※マンションなどの場合、停電に伴い断水が発生することがあります。飲料水の買い置きや、トイレ用の水を確保するため、浴槽に水を溜めておくなどの対策をしましょう。

避難に備えて

- 食料
- 健康保険証
- ヘッドライト(懐中電灯)
- 飲料水
- 本人確認書類
- ラジオ
- 常備薬
- タオル
- 携帯電話充電器
- 現金
- 着替え
- 電池 等

各家庭で必要になるものも用意しましょう。

- 眼鏡・コンタクトレンズ
- おむつ・粉ミルク・ほ乳瓶
- 生理用品 等



ハザードマップなどを確認しましょう

ハザードマップで自宅周辺の浸水の危険がある箇所や、がけ崩れをしやすい場所を事前に確認しておきましょう。

泉区 ハザードマップ 検索



「防災よこはま」では、大地震や台風、土砂災害など、さまざまな災害に対する自助、共助の取組を紹介しています。

横浜市 防災よこはま 検索

※どちらも泉区役所総務課(3階305窓口)でお配りしています。

大雨・台風 接近中の対策

安全な場所で過ごしましょう

【すべての人】

- ❗ 避難する場合を除き、外出しない
- ❗ 台風が過ぎ去るまで被害の確認をしない
- ❗ 窓・扉を開けない



【川の近くにお住まいの人】

- ❗ できる限り2階以上で過ごす
- ❗ 川の様子を見に行かない



【がけの近くにお住まいの人】

- ❗ がけとは反対側の部屋(できれば2階以上)で過ごす

情報を入手しましょう

- ★泉区防災・災害トップページ
- ★泉区役所Twitter
- 横浜市防災情報Eメール
- 緊急速報メール・エリアメール^{※1}
- Yahoo!防災速報^{※2}
- テレビやラジオによる放送
- ★広報車による巡回広報

避難に関する情報のほか、気象警報・注意報や豪雨情報、土砂災害警戒情報、地震情報などの防災に関する情報を登録いただいたメールアドレスあてに配信します。ぜひ登録ください。

登録方法 下記のアドレスにメールを送信すると案内メールが届きます。案内メールの手順に従い登録してください。

entry-yokohama@bousai-mail.jp



開設されている避難場所の情報は、★マークから入手することができます。
※1 対象エリア内で緊急速報メールに対応する携帯電話をお持ちの方に配信されます。(登録は不要です)
※2 ご利用にはアプリのインストールや、パソコンまたは携帯電話での登録が必要です。

避難に関する情報の種類と行動

警戒レベル4	避難指示(緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ●速やかに身の安全を確保できる場所へ避難 ●避難場所までの移動が困難と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難
	避難勧告	
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ●避難に時間を要する人(乳幼児、障害のある人、高齢者等)とその支援者は避難 ●その他の人は避難の準備を整える

避難行動の例



▶開設された避難場所
▶土砂災害警戒区域外の親戚の家 など



▶夜間や危険が差し迫っている場合は、無理に移動せず、建物内のできるだけ安全な場所へ

避難場所の開設

- 区役所が、避難情報を発令した地域に対して避難場所を開設します。
- 避難場所を開設した場合は市および区のホームページ・Twitter・横浜市防災情報Eメール等でお知らせします。あわせて、対象の地域には区の広報車が巡回しお知らせします。
- 災害規模や状況に応じて開設場所を判断するため、全ての地域に対して避難場所を開設するわけではありません。必ず開設されている避難場所をご確認ください。
- 風水害時の避難場所に食料、物資等は準備していません。避難される方はご自身で準備をお願いします。

※地震の避難所とは違います。市内1か所でも震度5以上の地震発生時には、地域防災拠点(泉区民の避難先は24か所)が開設されます。詳しくは、「泉区生活・防災マップ」を確認してください。 [\(泉区生活・防災マップ\)](#) [検索](#)

大雨・台風が過ぎたあと

被害などがあった場合は…

雨や暴風の危険がなくなったら自宅周辺の被害を確認し、必要に応じて以下の連絡先へご相談ください。周囲の状況などにより、身の危険を感じる場合は、泉消防署(☎119もしくは☎801-0119)へ連絡してください。

❗ 暗い時間帯での確認は大変危険です。明るい時間帯に確認をしてください。

被害の発生に関すること	泉区役所総務課	☎800-2309
がけ(土砂災害)に関すること		
り災証明書に関すること	泉土木事務所	☎800-2532
河川・公道に関すること	東京電力パワーグリッド(株)	https://teideninfo.tepco.co.jp/ ☎0120-995-007 ☎03-6375-9803
停電に関すること		